

ソフトテニスのメジャースポーツ化の条件に関する検討

A study on conditions we make soft tennis popular

1K06B151

指導教員 主査 吉永武史先生

長江光一

副査 宮崎正己先生

【研究の動機】

私は小学校3年生の時から現在まで、競技としてソフトテニスに取り組んでいる。そのソフトテニスは国内・国外問わずマイナーなスポーツとして捉えられている現状がある。その原因として、体育の授業でテニスが取扱われることが稀であることと、メディアにほとんど取り上げられないこと、更にはソフトテニスにプロスポーツがないという3つが挙げられる。これらの原因によってソフトテニスがメジャースポーツにならないと考え、メジャースポーツにしていきたいと思い、本研究のテーマを設定するに至った。

【研究の目的と方法】

研究では、ソフトテニスをメジャースポーツ化するための条件について検討することを目的とする。学校の教育・メディアを利用した戦略・プロフェッショナルの確立という3種類の視点からソフトテニスのメジャー化について検討する。また、本研究では、ソフトテニスに関する文献資料を中心に分析・考察を行う文献研究で進めていく。

【各章の概要】

第1章では、学校体育にソフトテニスを導入に関する検討と、そのとき使用されるカリキュラムを提案した。現在、約半数の人々のみ学生時代に経験しているソフトテニスは大雑把にしか指導されていなく、魅力を感じられない生徒が多いと確認された。この状況を打破するため

には、授業のカリキュラムを戦術的課題とその解決法を段階別に規定することが、効果的だと確認できた。

第2章では、ソフトテニスのメジャー化に向けてのメディア戦略について考察した。その結果として、ソフトテニスを題材としたスポーツマンガが出版・連載されヒットすることと、他のスポーツの選手の中にもいるように、ソフトテニスの選手がヒーローとして多くのメディアに取り上げられ、世の中に注目され大衆をソフトテニスに関心を向けさせることが必要であるといえる。

第3章では、ソフトテニスをプロスポーツにする条件とプロ化について検討した。具体的には、プロ化されている他のスポーツの現状と比較しながらソフトテニスをどのようにしていけばより世の中に広まり、プロスポーツ化できるか検証していった。考察の結果、大会等で観客料を取ることで、メディアにより積極的に出演・少年活動等の普及活動の活発化などによって大衆にソフトテニスについてよりよく知ってもらうこと、また、Jリーグやbリーグのように企業名から地域名称を作って、地域との一体感を作ることがプロ化につながる可能性が高いといえる。

結章では、ソフトテニスをメジャー化する条件を検討した結果、まず、学校体育にソフトテニスを導入して魅力を多くの生徒に伝えることで競技人口の増加を目指すことが重要であり、次に実力・ルックスを兼ね備えたヒーローやヒロインを発掘しメディアに進出することが求め

られ、ソフトテニスが世の中に浸透してプロ化すれば、メジャー化につながると確認された。しかし、本研究は理論的に可能性を検討したものであり、実現については未検証である。よって、今後実証的検討を進めていく必要があると思われる。